

# 教室だより

佐渡市立金井小学校  
佐渡ことば・こころの教室  
平成24年10月24日  
第783号

〒952-1209 佐渡市千種155  
Tel: 0259 (63) 4156 (直) 4115 (代) FAX: 4117  
<http://kanai-es.sado.ed.jp> E-mail: kanai-es@sado.ed.jp



星野富弘さんの詩画集の、萩の絵に添えられた文章には『支えられているから立っていられる 支えられているから崖に身体を乗り出せる 支えられているから見えない明日に夢をみられる』とあります。私たちも、保護者や通級のお子さんの在籍学級担任の皆様、そして子どもたちの支えなしには良い指導はできません。今年度も後半に入りました。またよろしくお願ひします。

## 伝えることと、受け取ろうとすること

中央児童相談所  
高原 稔

「コミュニケーションをしないではいけない」という言葉を聞いたことがあります。「しないではいけない」！？どういうことでしょうか。。。しっかり話をしなかったり、行動でも意思表示をしなかったり・・・何もしない??しかし、存在している人が「何もしない」ということが本当にありうるのでしょうか。「何もしない」ということが仮にあるとすれば、それは実際に何もしていないことになるのでしょうか。

ことば・こころの教室では子どもにコミュニケーションすることを教えてくれます。自ら何かを伝えられるように支援をしてくれます。子どもから相手に近づく方法を教えてくれます。子どもたちは「何もしない」どころではありません。

私たち大人、地域も決して「何もしない」でいるということのないよう子どもたちとコミュニケーションする努力が必要なのだと思います。



## 事例検討研修の報告

夏季休業中に、日本言語障害児教育研究会に参加させていただきました。

有明教育芸術短期大学の羽田紘一先生の講義で、教師の陥りやすい傾向についてお聞きしました。教師は「指導に際しての要求する水準を、ともすると高く設定しがちである。」「事実に基づかない推測・憶測をする。」「教師という仕事を始めて2、3ヶ月たつと、自分の物差しでしか人を見なくなる。」という話を聞き、自分に当てはまる部分の多いことに、はっとさせられました。このような傾向から脱却するために事例検討が必要とのことでした。参加者は「べき論（決めつけ）」「非現実的な意見（不可能）」「自分だけの事例や体験（自慢）」を述べないように注意するとよいと教えられました。

私たち通級担当者は、毎週行っている校内研修をはじめ、年4回の下越地区言語難聴教育研究協議会にも参加し、研修を積んでいます。通級している子どもたちのために、実のある研修を行い、日々の指導に生かしていきたいと夏の研修会に参加させていただきました。改めて思いました。（佐藤）



# 親の会 コーナー



## 親子体験活動がありました

10月13日(土)潮津の里にて、親子体験活動(そば打ち体験)がありました。子ども・保護者を含めて総勢32名の方が参加してくださいました。親子で4つのグループに分かれ、そば粉をこねたり、薄く伸ばして細く切ったり、みんなで楽しくそば打ちをしました。出来上がったそばを食べながら「これは細くて上手だね。」とか「ずい分太いなあ、これは当たりそばだね(笑)」などと自分たちの作業を振り返り、楽しいひと時を過ごすことができました。

### 参加者の感想

- ずっと前から「そば打ちが楽しみだなあ。」と話していました。グループで活動になると、隣の部屋に行ったり来たりしながらも、こねこねや切る活動ができました。苦手なそばも全部食べました。楽しかったです。
- 子どもの方が上手でびっくり。指導してくださった先生の言うことを素直に聞いて実践できました。時々行事を通して会う友達と仲良くしている様子を見て「成長したなあ。」としみじみ思いました。
- グループ分けをしていただいていたので、子どもたちも「順番を待つ」「ボールをおさえる」など、協力し合うことができよかったです。



# お知らせ



## 第2回運営委員会の開催について

第2回運営委員会を下記の日程で行います。運営委員の皆様、よろしくお願いいたします。

- ◆日時 11月14日(水) 10:00~11:30
- ◆会場 金井小学校 会議室

## 第1回判定委員会がありました!

10月1日(月)に金井小学校校長室で第1回判定委員会が行われ、30人の入級が認められました。判定委員の皆様、ありがとうございました。

